

みどりみらい 2nd SEASON ぐんじとしのりの議会報告

2003/11/15 Vol. 15 西の原 2-3-6-104 TEL/FAX 45-8362
E-MAIL ID / toshigunji@hotmail.com

印西市議会/平成 15 年第 3 回定例会報告 (4)

いつもお世話になっております。印西市議会第 3 回定例会(9 月議会)は、9 月 24 日(水)にて、閉会しました。今回も、9 月定例議会での私からの一般質問、市執行部からの回答を中心に報告していきたいと思ひます。

「平成 14 年度印西市各会計歳入歳出決算認定について」

昨年度の決算認定作業が始まりました。この審査については、内容が多岐にわたり、慎重に審査する必要があるため、第 3 回定例会(9 月議会)の会期中には結論を出さず、「決算審査特別委員会」にて、継続審査を行うこととなりました。認定結果は、12 月 3 日(水曜日)より開催が予定されています、第 4 回定例会(12 月議会)最終日に委員会より報告され、認定の可否について採決されます。私は今回、委員ではございませんが、第 4 回定例会(12 月議会)までに内容を調べて参りたいと思ひます。

第 3 回定例会(9 月議会)では、決算認定に対する総括質疑が行われました。今回は、私より執行部に対して行った質問を抜粋してご紹介させていただきます。

Q /

国民健康保険特別会計における、歳出不用額*について

29.3 億の予算に対して、1.6 億の不用額はあまりにも多いのではないかと

(このうちの保険給付費不要額 1.4 億について適切な予算計上ができたのか疑問をはさみます。)

(回答 / 保健福祉部長) 特に保険給付を絞ったわけではない。予想以上に保険給付の申請が少なかったためにこのような結果になってしまった。

Q /

私の手元に「平成 14 年度印西市当初予算案の概要」という冊子があります。

その最後のページに平成 14 年度主要事業というのが記載されています。

今回、決算審査をするにあたり、議員の手元に

平成 14 年度 主要施策の成果の説明書 / 定額の資金を運用する基金の運用状況の説明書が配布されましたが、平成 14 年度主要事業のうち、新規事業として紹介された 4 つの事業に対する成果説明がない。これは何故なのか?

防災行政無線再整備調査事業	5250 千円
ブルーベリーグッドなまちづくり推進事業	500 千円
公共施設バリアフリー整備事業	19779 千円
配食サービス事業	11760 千円

どのような認識をもって、この資料をつくったのでしょうか? 説明を求めます。

(回答 / 総務部長)

担当各課に資料提出をするように求めた結果、このような資料になった。抜けている部分については資料を早急に作成し、ご提示したい。(定例議会最終日に配布されました。)

(ぐんじとしのり より 市民のみなさまへ)

決算認定作業は、一般企業における一つの事業評価と同様に個々の施策(事業)について、以下のプロセスに従って検証を行っていく非常に重要な作業です。

個々の施策(事業)について。。

計画をたて、実行し、結果を反省(チェック)して、次の計画につなげる。。

しかし、私からの総括質問に対する執行部の回答では、残念ながら、一番重要であろう「結果を反省(チェック)して」という部分が欠けていたといわざるうえません。

印西市が行った個々の事業に「費用がいくらかかり、市民の満足を得ているかどうか評価する」ためには十分な資料を準備し、市民を代表する議員に提出されなければ、市民への説明責任が果たされているとは思えません。

行政の活動目的とは、市民にとって必要で、十分な施策を最小のコストで行うことです。行政施策の成果を客観的に説明することが行政に課せられた説明責任です。

市民に対して、いつでも、市は財政運営が厳しい旨の説明、答弁を行います。

それを市民は信じて、印西市は貧乏だから市民が満足できる市政運営ができない。

「仕方ないね。。」このようにあきらめている。私はいつもおかしいと思っています。

印西市は本当にお金がないのか？表面で一部紹介させていただきましたが、昨年度の歳出不用額*は一般会計では約 39 億 8766 万円あります。この金額があれば、どのような事業ができるのでしょうか？(平成 14 年度 一般会計予算 ...約 204 億 1096 万円)

(*歳出不用額 / 予算に対して、執行することができず、年度末に予算に対して不要であった金額をいいます。 予算が余ればよいというわけではなく、その予算の剰余について、経費を削減して行われたものであれば問題ないのですが、当初からその事業は必要なものであったか、ムダな予算金額の計上が行われていたか等々の検討が必要になってきます。例えば、A という事業に予算が 2 千万円つぎ込まれた為、B という事業はできなかった。しかし、年度末に決算をみると A は予算が余り、B の事業執行をするための予算計上はできたはずであった。というような検証を行います。)

からからに乾いたタオルから 1 滴を絞れといっているわけではありません。

私は、この不用額をはじめとして、決算認定を行うにあたって、歳入 / 歳出を再度見なおして、不用不急の支出はなかったか、市民が望むサービスをするための事業をしてきたのかを考えて欲しいことを執行部に伝えております。

重ねて、私は決算の内容を精査し、今、市民への情報公開も行い、良い情報も悪い情報も市民にありのままの印西市を教えることがとても大切だと思っています。財政の用語は難しいことばが並び、用語も意味もよくわからないけど、新聞や雑誌で数字が悪いと言っているから、印西はだめらしい。。。これでは困るわけです。

印西市の現在、将来が「だめかどうか？」は必要な情報を提示したあとに、市民自らが判断される事ではないでしょうか。皆様はどのようにお考えになりますか？

私はいつでもこの街の可能性を信じ、財政的にも決して他市と比べても劣るものではないと考えております。

いつもご声援、ご支援ありがとうございます。次回は 11 月下旬の発行を予定しております。次回も、引き続き 9 月議会の報告を行ってまいります。

この紙面へのご意見に限らず、市政全般へのご提言、ご批判、皆様からのご相談はいつでも承ります。あるべき市政の姿を求めて皆様と手を携えていきたいと思っております。よろしく
ぐんじとしのり